

キャッシュレス委員会次第

日時：令和8年1月15日(木) 11時～

場所：日田商工会館 4階 大会議室

1. 委員長あいさつ

2. 議 題

(1) 副委員長選任について

(2) 事業について

※資料① 参照

(3) その他

キャッシュレス委員会

氏名		事業所名	住 所	電 話	F A X
委員長	宮野 大樹	(株)Daiju. tech	大字日高1200-5	28-5726	28 - 7203
副委員長	東 真吾	(有)ファミリーフードサービス	吹上町1130-5	24-2788	24 - 7660(若宮) 24 - 0004(インタ-)
	角 弘起	(株)想夫恋	大字友田110-5	23-9360(事) 24-3188(店)	23 - 9324
	高嶋 秀武	(株)平成建設	大字有田字水目316-1	22-4137	22 - 4006
	梶原 智敏	日田信用金庫	中本町3-20	23-3177	24 - 5117
	小野 智宏	(株)大分銀行日田支店	三本松1丁目1-2	23-2101	24 - 7714
	大塚 智	(株)オオツカ	中央1丁目5-12	22-2470	22 - 2173
	中山 英明	(有)日田醤油	丸の内町2-1	22-2456	22 - 1944
	奥谷 聖治	(有)クロース・コーポレーション	若宮町403-1	22-2405	22 - 1130
	安田 徳章	(株)福岡銀行日田支店	中央1丁目3-22	24-4111	22 - 1590
	中村 広樹	ベストリビング(株)	大字東有田1160-7	24-6211	24 - 2550
	中川 和也	(株)筑邦銀行日田支店	本庄町1-8	24-3171	24 - 3175
	平川 好美	(有)カードクター・フカミ	新治町10-1	23-6072	23 - 9359
	稲葉 孝政	(株)クロス・エイト・ワールド	中央1丁目1-16	27-5041	27 - 5042
	浦中 直也	三和酒類(株)日田蒸留所	大字西有田810-1	25-5600	25 - 6215
	平川 正路	日田市商店街連合会	元町15-1 にこにこ交流館2階	24-5391(連) 23-1111(店)	23 - 1110
	大石美智子	(株)萬屋	隈1丁目3-12	22-3138	23 - 3300

副会頭	谷口 知幸	中山化成(有)	大字川下133-6	24-5228	23 - 8002
-----	-------	---------	-----------	---------	-----------

担当職員 松尾・西馬・春口

R7.11～

日田商工会議所

日田キャッシュレス化推進 3カ年ロードマップ

商工会議所から始まる、日田のキャッシュレス革新

3年後の到達目標：私たちが目指す日田の姿



商工会議所がキャッシュレス普及の“地域ハブ”として機能する。



観光地（豆田・天瀬・日田駅）が完全キャッシュレス対応。



高齢者を含め、市民のキャッシュレス利用が日常になる。



市役所・公共施設もキャッシュレスが当たり前になる。



事業者が現金管理の負担から解放される。



日田全体が「キャッシュレス先進地域」として評価される。

市民・事業者・観光客
がキャッシュレスで
不便なく過ごせる街、
日田。

なぜ今、キャッシュレス化か？

日田市が直面する現状と課題



市民の課題

- **心理的抵抗**：「操作が不安」「詐欺が怖い」という声。
- **体験機会の不足**：日田駅で交通系ICが使えず、日常的な体験機会が極端に少ない。
- **高齢者の壁**：特に高齢者の利用経験が乏しい。



事業者の課題

- **コストへの懸念**：手数料負担への根強い抵抗感。
- **見えない負担**：現金管理の手間（入金・両替・締め作業）の大きさが認識されていない。
- **操作への不安**：端末操作やレジ連携への難しさ（事業者自身の高齢化も影響）。



観光・公共の課題

- **観光客の不便**：豆田・天瀬・駅周辺など主要観光地での対応が遅れている。
- **公共施設の遅れ**：市役所、図書館、体育館など公共施設のキャッシュレス化が未整備。
- **地域の印象**：日田の第一印象が“現金文化の街”になっている。

課題解決のための3つの柱



市民の意識改革 (特に高齢者)

概要: 「触れて慣れる」場を増やし、不安を安心に変える。

- キャッシュレス体験会・相談会の実施
- スマホ操作＋詐欺対策をセットで教育



事業者の導入支援

概要: コストの誤解を解き、成功体験を共有して導入を後押しする。

- 手数料と現金管理コストの比較による理解促進
- モデル商店街の先行整備と成功事例の共有



観光・公共エリアの 利便性向上

概要: 人が集まる場所から変え、街全体の利便性を向上させる。

- 駅前・豆田・天瀬など観光動線を重点整備
- 市役所・図書館など公共施設のキャッシュレス化

3カ年ロードマップ：実現へのステップ



この3段階の流れを商工会議所が主導し、日田市のキャッシュレス化を着実に推進します。

1年目：現状把握 × 基盤整備（現実を知り、土台をつくる）

目的

日田市の「キャッシュレスの現状」を正確に把握し、市民・事業者の意識改革の第一歩を築く。

主なアクション



現状把握：

- 市民・事業者・公共・観光の4分野で利用状況と課題を徹底調査。
- 日田市全体の「キャッシュレス実態マップ」を作成。



市民向け意識改革：

- 高齢者向け「キャッシュレス体験教室」や市役所での相談会をスタート。
- 詐欺対策ガイドを配布し、市民が「触れる場」を最大化。



事業者向け導入サポート：

- 手数料の正しい理解（現金管理コストとの比較）を促進。
- 端末操作体験会やモデル店舗（豆田・駅前）の選定を開始。

達成成果（Outputs）

- 「キャッシュレス現状・課題白書」
- 市民・事業者アンケート結果
- モデル地区候補リスト

2年目：普及促進 × 方向性の確立（使うのが当たり前へ）

目的

“使ってみる” → “使える”

→ “当たり前になる”
の段階へと進め、
キャッシュレス利用を
文化として根付かせる。

主なアクション



市民向け：

- 市内イベントでの体験ブース設置や商店街での「キャッシュレス週間」開催。
- 高齢者向けの継続講座を開講。



事業者向け：

- レジ締め時間削減など“メリットの見える化”を推進。
- 成功店舗の事例紹介を横展開。
- モデル商店街（豆田 → 駅前 → 天瀬）を順次展開。



連携強化：

- 市、金融機関との連携を深め、公共施設のキャッシュレス化を推進。

達成成果 (Outputs)

- 「キャッシュレス方針案（ロードマップ案）」
- モデル商店街導入計画書
- 市民・事業者の声を整理した“提言準備資料”

3年目：市への提言 × 予算化 × 地域実装（仕組みとして定着）

目的

商工会議所からの正式提言を市の予算化につなげ、地域全体のキャッシュレス化を不可逆的に加速させる。

主なアクション



会頭による市への政策提言：
委員会が準備した資料を基に、会頭が市へ正式に提言。



市の予算化と実行：
提言内容（導入補助金、講座の公費化、公共施設整備など）の予算化を目指す。



CCIの拠点化：
商工会議所を「地域のデジタル支援拠点」として確立。事業者相談窓口や市民向け定期講座を整備。

達成成果（Outputs）

- **政策提言書**
（白書＋方針案＋必要政策案）
- モデル地区の成果報告書書
- 市全体のキャッシュレス発展計画

3年目の核：市への政策提言（具体案）

1年目・2年目の調査と実践に基づき、以下の政策を市に提言し、予算化を目指します。



店舗向け：キャッシュレス導入補助金



市民向け：市民向け講座の公費化



公共施設：公共施設キャッシュレス化の本格的な予算化



観光振興：

- モデル地区（駅前・豆田）への重点投資
- 観光客向けキャッシュレス環境整備



デジタル支援：高齢者の「スマホ × キャッシュレス」一体支援事業

推進体制：キャッシュレス委員会が実行を担う

委員会の役割

3カ年ロードマップの実行部隊として、調査、企画、関係機関との調整を一手に担う。

活動内容

第1回（立ち上げ）：

- 3年後ビジョンの共有と現状課題の仮説出し
- 調査項目の決定と役割分担

毎回の委員会：

- 調査の進捗共有
- 市民・事業者からの声の収集と課題整理
- 次のアクション（普及・啓発・支援）を決定

アウトプット

年度末に、進捗と次のステップを“会頭への報告資料”としてとりまとめる。



結論：これは「機械導入」ではなく、「街づくり」である。

キャッシュレス化は、市民・事業者・観光・公共のすべてを繋ぎ、地域全体の利便性・生産性・魅力を向上させる「未来への投資」です。

3年の流れ

- ①現状を知り（1年目） ②方針を決め（2年目）
- ③提言し予算化し、仕組みとして定着させる（3年目）

この変革を商工会議所が主導することで、日田市は「キャッシュレス先進地域」へと進化します。